ご参考
8月18日終値 1,413円

フィード・ワン株式会社

日経・東証IRフェア2026

日本の食卓を支える、『見えない主役』の会社説明会

東証プライム市場
証券コード 2060



おいしさのみなもと
FEED ONE

1頭の乳牛から1日に採れる牛乳の量って知っていますか

A 牛乳パック
5本分(5L)

B 牛乳パック
15本分(15L)

C 牛乳パック
30本分(30L)

私たちは、乳牛の生産性向上を支えている会社です





フィード・ワンは肉や魚、牛乳、卵といった畜水産物の生産に欠かせない

『配合飼料』の製造・販売を行う会社です

目次

00　基本情報

01　安定から見るフィード・ワン

02　成長から見るフィード・ワン

03　還元から見るフィード・ワン



代表取締役社長

庄司　英洋

日本人は、毎日、牛乳を飲み、卵や肉・魚を食べています。
しかしその裏には、あまり知られていない飼料会社があります。
私たちは家畜を育てている会社ではありません。日本の食卓を支えている会社です。

目次

00 基本情報

01 安定から見るフィード・ワン

02 成長から見るフィード・ワン

03 還元から見るフィード・ワン





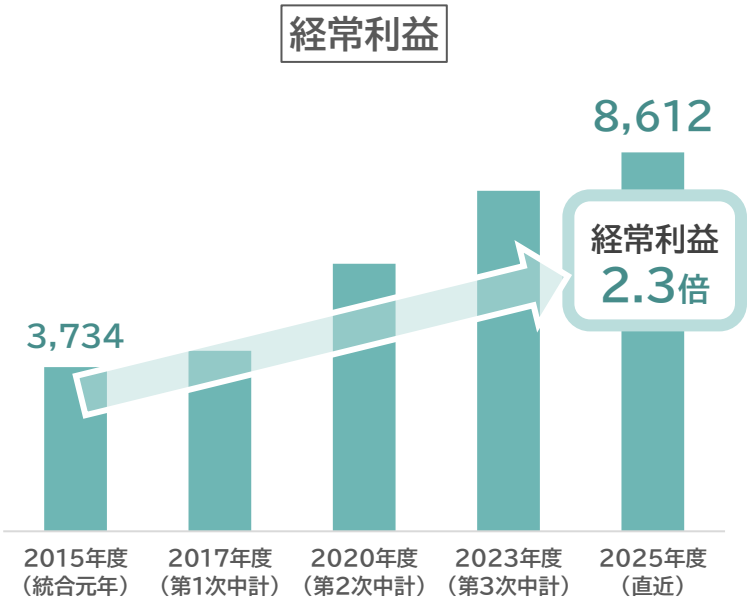
フィード・ワングループの基本情報

おいしさのみなもと FEED ONE

安定したマーケットの中で、統合以降、利益を2倍以上伸長しています

創立	売上高(連結)	経常利益(連結)
2014年	2,906億円	86億円
日本配合飼料と協同飼料が統合	2025年度	2025年度

グループ会社数	畜産飼料シェア	水産飼料シェア
27社	2位	2位
（うち連結子会社16社）	（1位はJA全農）	（当社調べ）



Purpose

飼料で食の未来を創り、命を支え、笑顔を届ける

当社はココがポイント

派手さはないものの、食を支えるインフラ企業としての堅実な成長が強みです

1. 食のインフラとして景気に左右されにくい安定事業

2. 原料価格変動を販売価格に反映できるビジネスモデル

3. 多様化するニーズへの対応力が生む競争優位性

4. 統合以降利益2倍以上（経常利益2.3倍、最終利益2.8倍）

5. 累進配当（統合以降減配なし／1株当たりの配当額も2倍以上）

配合飼料はまさに食のインフラ

おいしさのみなもと FEED ONE

私たちは目立ちません。しかし、毎日の食卓に欠かせない会社です



卵がなくなったら・・・

ケーキでお祝いできなくなるかもしれない





牛乳がなくなったら・・・

暑い日の定番が変わるかもしれない





豚肉がなくなったら・・・

受験生の縁起担ぎが変わるかもしれない



食の安定供給を支える「見えない主役」それが配合飼料です

配合飼料が支える3つの役割

『量』を支える

配合飼料は家畜の主要なエネルギー源



▼

大きく成長＆たくさん生産へ

『質』を支える

配合飼料は緻密な設計で優れた栄養・衛生を実現



▼

安心安全な美味しい食事を

『生産』を支える

配合飼料は生産者の経営の悩みを解決



▼

差別化や家畜の夏バテ防止等

畜産業界を支える3つの安定性

おいしさのみなもと FEED ONE

畜産業界は底堅い需要と制度に支えられ、安定した市場を形成しています

「規模」が底堅い

畜産飼料の流通量は
約2,400万トン/年

お米の3倍以上の市場規模

3倍超



1.5兆円規模

「需要」が底堅い

鶏肉の需要は
10年間で10%超増加

インバウンドや肉食嗜好で
畜産物需要は伸長



その他…和牛等の輸出の拡大

「制度」が底堅い

原料価格高騰時も
価格転嫁が可能

メーカーと生産者を守る制度

配合飼料の価格改定制度
原料価格に応じ、四半期毎に改定

配合飼料価格安定基金制度
飼料価格上昇影響を補填金で緩和

規模・需要・制度に支えられた安定的な事業基盤です

目次

00 基本情報

01 安定から見るフィード・ワン

02 成長から見るフィード・ワン

03 還元から見るフィード・ワン





フィード・ワンの競争優位性

畜水産物の生産課題を3つの強みで解決し、価値を生み出す会社です

生産者の悩み

生産性を上げたい
乳量や増体、飼料効率を改善したい

コストを抑えたい
優秀な個体の選抜やDX化で効率化したい

ブランド化したい
差別化して経営成績を改善したい

フィード・ワンの強み

研究開発
自社研究施設と産学連携により、最新技術を搭載した製品を開発し、特許も取得

供給体制
全国各地に工場を配置し、必要な製品を必要なタイミングで生産者に提供

飼養技術
専門性の高い営業担当者による、迅速な課題発見と解決策(製品・技術)の提供

生まれる価値

生産者
畜水産物の安定生産と発展的な経営を実現

フィード・ワン
競争優位性の向上と持続的な利益成長を実現

消費者
安全でおいしい畜水産物を安定的に食べられる

技術力と課題解決力を武器に、生産課題の解決と新たな価値を創造します

事業環境の変化が生む競争優位性（畜産飼料事業）

おいしさのみなもと FEED ONE

記録的な暑さが新たな課題に。長年の研究成果が競争優位性の源泉に

業界シェア ②
15%

2027年
福島県に養牛研究施設が完成予定！

投資額10億円超



全国をカバーする事業基盤

13	3	8	7
工場※	研究所	支店	販売会社※

※持分法適用会社含む

市場の変化を成長機会へ

気候変動が生む『食への影響』
繁殖能力低下や疾病リスク、畜産物の品質低下
→ 畜産物の供給減少

求められる『暑熱への対策』
家畜の食欲低下や健康維持へのニーズが拡大
→ 新たな需要創出

業界を牽引する『暑熱専用飼料』
10年超の研究成果と、畜種ごとの専用製品
→ 業界シェアトップクラス

研究開発力と事業基盤を強みに、競争優位性を成長につなげます

事業環境の変化が生む競争優位性（水産飼料事業）

おいしさのみなもと FEED ONE

養殖市場の拡大が新たな課題に。技術力と製造基盤が競争優位性の源泉に

業界シェア ②
18%

2028年
愛知県に水産新工場が完成予定！

投資額130億円超



成長を続ける水産養殖市場

- 政策的にも注目される『陸上養殖』
- 北米・欧州を中心とした『養殖魚の輸出』
- 環境変化による『養殖魚種の多様化』

市場の変化を成長機会へ

気候変動が招く『魚粉の高騰や供給不安』

エルニーニョ現象等で漁獲量が減り、魚粉価格は過去最高値圏を推移

魚粉に依存しない『無魚粉・昆虫タンパク飼料』

サステナブルな養殖業の実現に向けた新常識を創る高い技術力

ニーズの多様化に応える『国内最新2工場体制』

養殖環境の変化・多様化に対応した飼料を供給できる製造インフラ

次世代技術と最新の製造体制を強みに、成長市場で競争優位性を発揮します

業績推移とトピックス

統合以降、積極的な投資やグループの再編を行い、着実に成長してきました

日本配合飼料(1929～)

協同飼料(1946～)

2015
完全統合

2017
北九州水産工場竣工

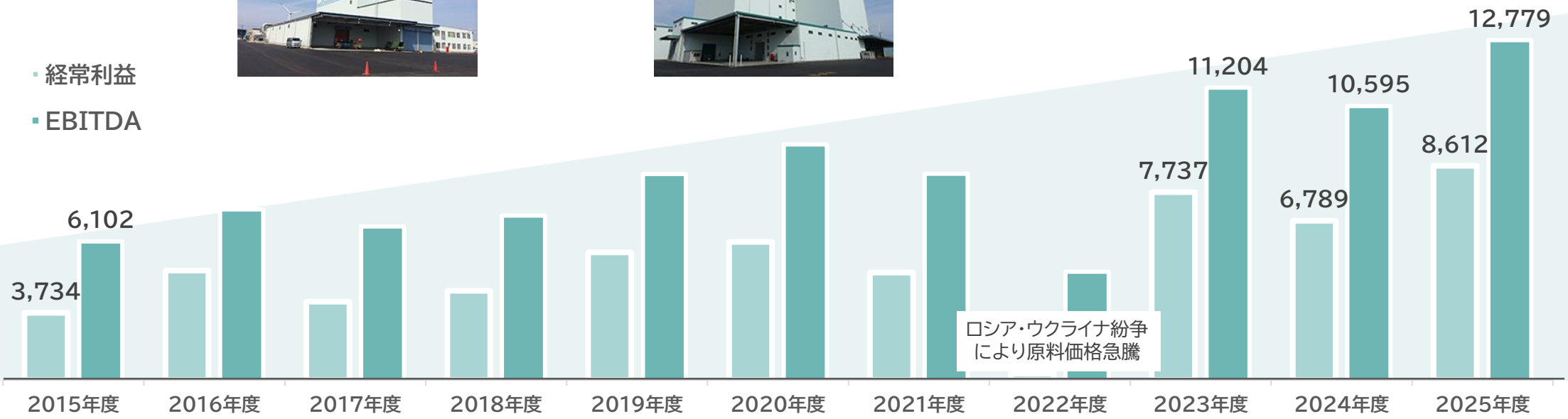


2020
北九州畜産工場竣工



2025
愛知県に水産新工場建設を発表
（2028年4月竣工予定）





目次

00 基本情報

01 安定から見るフィード・ワン

02 成長から見るフィード・ワン

03 **還元**から見るフィード・ワン

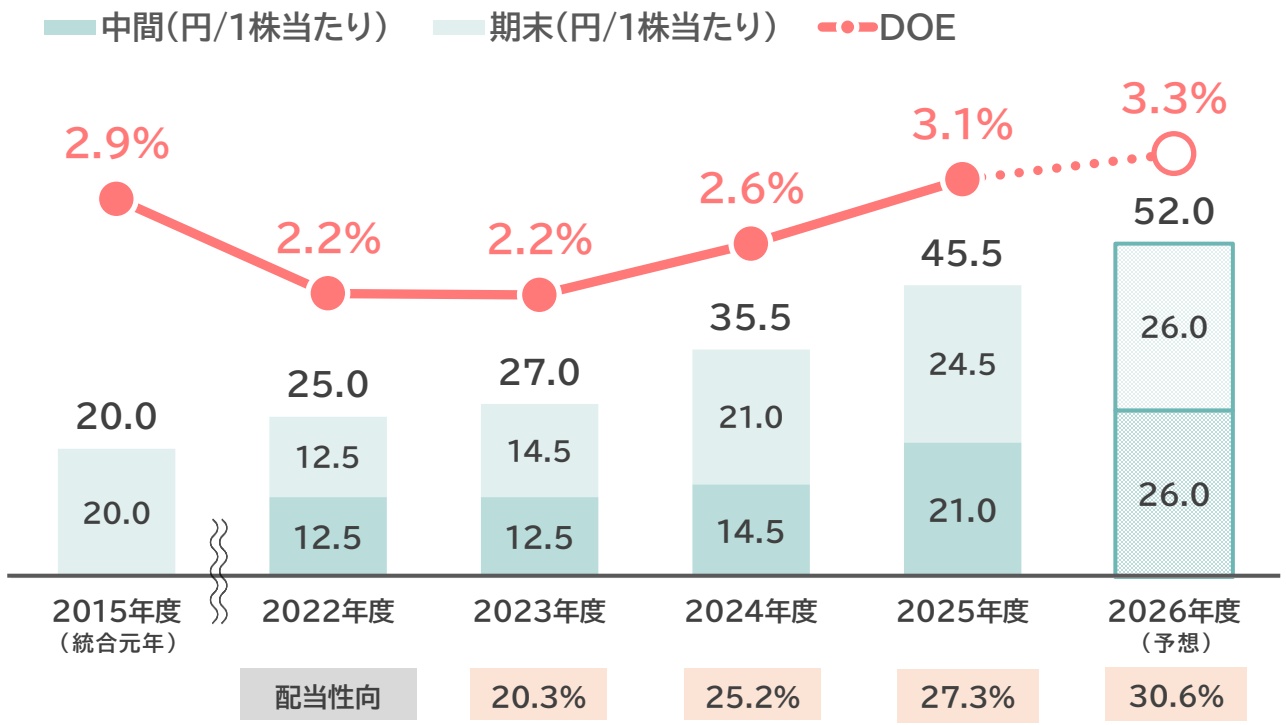




配当方針と株価

累進配当の方針のもと、安定的かつ継続的な株主還元を推進しています

長期的発展の礎となる財務体質強化のための内部留保の充実と累進配当を基本として、
連結株主資本配当率(DOE)3%を目標といたします



株 価

475円 ▶ 1,413円

(2015年度期末) (2026年8月18日)

約3倍

※2020年に5:1の株式併合を行っているため、
2015年度の配当金、株価は併合後に換算した金額となります

安定成長×割安評価

高い収益性と株主還元を実現しながらも、PBRは1倍未満の水準です

ROE（収益性）

11.0%

10%超を維持



高い資本効率を継続しています

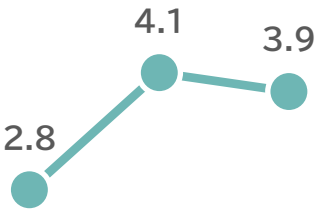
2023年度　2024年度　2025年度

×

株主還元（配当利回り）

3.9%

高水準を維持



4%前後を推移しています

2023年度　2024年度　2025年度

×

PBR（割安性）

0.73倍

1%を下回る



ROE水準に対し低位に留まっています

2023年度　2024年度　2025年度

市場評価は依然として低い水準

統合10年で利益は2倍超
経常利益：37億円→86億円

配当も2倍超
配当金/株：20円→45.5円

それでもPBR1倍未満
PBR：0.73倍（2025年度）

安定成長×株主還元×PBR1倍未満

PBR1倍に向け、市場評価の向上を目指します

フィード・ワンの投資ポイント

おいしさのみなもと FEED ONE

食を支えるインフラ企業としての安定性と堅実な成長が強みです

1. 食のインフラとして景気に左右されにくい安定事業

毎日決まって消費される、大規模で安定した需要が魅力です。

2. 原料価格変動を販売価格に反映できるビジネスモデル

安定した収益確保を可能にする仕組みが存在します。

3. 多様化するニーズへの対応力が生む競争優位性

巨大安定市場・成長市場で競争優位性を発揮、成長余地は十分です。

4. 統合以降利益2倍以上（経常利益2.3倍、最終利益2.8倍）

過去の実績は良好、最高益を目指す今期も1Qは順調な進捗です。

5. 累進配当（統合以降減配なし／1株当たりの配当額も2倍以上）

配当実績は良好、株価はPBR向上を目指して全力取組み中です。

おいしさのみなもと

FEED ONE

私たちは、AIや半導体のように目立つ存在ではありません。
ですが、皆さまが今日食べた卵、牛乳、肉、魚を支えています。
どうか今日の夕食のときにフィード・ワンを少しだけ思い出してください。

フィード・ワン
IR情報 トップ



フィード・ワン
統合報告書



フィード・ワン
企業調査レポート



